

私の青春



努力は決して自分を裏切らない！／継続は力なり／

備後特産品研究会 会長 中島 基晴
なかしまもとはる

沈し、自分の実力の無さを痛感しました。

私の思い出はというと、小学校から大学まで毎日が水泳中心の生活でした。もちろん学業もありましたので、前日に次日のスケジュールを立てることが日課でした。学生手帳に勉強や練習時間を書きこみ、それを目安に行動していました。この頃「限られた時間の中で、やるべき事をやり繰りする習慣」が身についたのだと思います。

思い起こせば中学時代後半、大ブランクに入りました。この頃「限られた時間の中で、やるべき事をやり繰りする習慣」が身についたのだと思います。

しかし、なぜか水泳をやめようとか、嫌いになります。まだ高校に進学して全国を狙えるチャンスがあるという希望と意欲があったからです。それからも冬場のプールでの練習に加え、陸上部のトレーニングに参加させてもらつたりと練習漬けの毎日。そしてついに高校1年の夏、全国（国体）への切符を手にすることができ入賞も果たせました。

スポーツを通じて出会った私の財産である友人、知人、諸先輩方との友情を大切にしながら、「私の青春」のコーナーではありますが、「今でも青春」の気持ちを持ちつづける努力の毎日です。

「壁につきあたつても、必ず結果が出ると信じて、今やっていることを、あきらめずにやり抜く。努力は決して自分を裏切らない。」この事は、仕事などスポーツ以外にも通じることだと思います。

水泳を始めてもう35年。今も本業は疎かにせず、時間をやり繰りしながら練習、そしてボランティアで子どもたちやご年配の方たちの指導に努めませんでした。予選会で優勝しても標準タイムを切らなければならなかつたからです。その時は本当に悔しく意気消

略歴

昭和42年福山市生まれ。広島大学附属福山高校から昭和61年4月、慶應義塾大学商学部へ。同大学卒業後、平成2年4月伊藤忠商事株式会社、食料部門の商社マンを経験。その後、母校である学校法人慶應義塾で職員を勤め、平成9年6月、(株)中島商店(創業明治42年)へ入社、平成23年1月より代表取締役。平成16年10月より備後特産品研究会 会長。



昭和58年水泳選手として国体へ(左が筆者)